

わしは本物の畑を耕し始めてから、35年以上経過する。お(おキマておコ親五) 登赤
子供を育てるのと違って長くても一年で勝負がつくので面白い。お(お)コお

農家の三男坊だったので、全くの素人でなかったが、自分で栽培するのは初めてだった。
最初は失敗することが多かったが、自分なりに工夫をしながら覚えた。おまアJ輝おひ甘
農家のプロがびっくりするような独自の栽培方法を行い、結果的には農家の人が栽培方法
を教えてほしいと依頼されることがあった。

今回は菊(鑑賞用)の栽培を紹介する。
春となると新芽が出る。高さが20センチくらいに伸びたらハサミで刈る(茎だけで根が
付いていない)。2時間ほど水を充分吸わせてから、川砂を入れたプランターに押し木を
して日陰に置く。

1週間ぐらひは、朝と夕方に水を撒く。2週間目からは夕方だけ水を撒けば良い。
3週間で根がはえたら。5週間経過して引き抜くと、根がびっしりと生えている。
出来れば、畑に1メートルくらいの間隔で移植する。(間隔が狭いと掘り起こすときが大
変)。最初から鉢植えにしても良いが、あまり大きくならない。

肥料は固形の鶏糞(ホームセンタへで売っている)だけで良い。
夏場になると急成長して、徐々に形が丸くなって来る。
頭でっかちなので、強風で倒れたりするので、菊の中心部に直径1センチくらいのイボ竹
の棒を1~2本杭にして打ち込むとよい。

9月末頃から蕾みが出始めて、10月末から咲き始める。
鉢植えにするときは、水抜き穴が塞がるまで底にある碎石を敷き、上に砂を敷いてから
水をたっぷり入れて、砂が碎石の隙間に入るようにする。

砂の上に土を入れて菊の高さを調整をする。
畑から掘り起こした菊は、園芸スコップで土を切り落として、鉢に楽に入れるようにする
と作業が楽である。

菊の形を見ながら鉢に入れて、土を隙間に詰め込む。中が空洞にならないように棒で
土を突いて詰め込む。頭でっかちなので、水を撒いたり強い風ときは菊が斜めになら
ないように、直径1センチくらいのイボ竹の棒を4本打ち込む。
長さを調整して杭の頭が菊の花の下に隠れるようにすると見た目が良い。

ここまで終わってから水をたっぷり撒いて休ませる。
水は花にかけないで、土にたっぷり撒くようにする(3日に1回くらい)花は黄色・白・
赤の3種類ある。黄色が一番形が良く、一週間くらい早く咲く。
最大で直径80センチくらい。

